

震災関連講演会

福島原発事故避難者の思いに触れよう

東日本大震災を忘れない

テーマ

～避難者から見た福島原発事故の5年間～

福島原発事故などなかったかのように、川内原発をはじめとして原発再稼動が行われています。しかし、本当に原発事故は収束に向かっているのでしょうか？避難者＝当事者の「声」を聞きましょう！



- とき 3月19日（土）午後1時30分～3時30分
- 会場 尼崎市立地域総合センター上ノ島 本館
- 講師 うの さえこさん（福島原発事故避難者）
- 申込み 不要。直接会場まで
- 参加費 無料。

手話
通訳
あり

プロフィール

2011年3月11日、福島市にて被災、当時4歳の娘を連れて避難。山口県、福岡県を経て、2013年春より京都府へ。現在、京都府木津川市在住。避難後、脱原発、脱被ばく、原発事故被害者の権利確立のために発信を続けている。福島原発告訴団、原発損害賠償きょうと訴訟原告、原発事故被害者の救済を求める全国運動など。昨年10月に、「避難の権利」を求める全国避難者の会を設立、共同代表を務める。著書『目を凝らしましょう。見えない放射能に。』（クレヨンハウス）、共著『福島原発事故と女たち——出会いをつなぐ』（梨の木社） など。

主催 尼崎市立地域総合センター上ノ島

問合せ先 同総合センター本館 電話6429-7640